

NRIセキュア テクノロジーズ カンパニー・オブ・ ザ・イヤー

日本の特権アクセス管理業界で最高水準と認定

ワールドクラスのパフォーマンスに対するベストプラクティス基準

フロスト & サリバンは、各表彰部門の候補者を評価する厳格な分析プロセスを経て最終受賞者を決定しています。このプロセスでは、候補に指名された各企業について、2つの観点でベストプラクティス基準の詳細な評価を行います。NRI セキュアテクノロジーズ（以下、NRI セキュア）は、特権アクセス管理分野において、多くの基準で優れた評価を得ています。

アワード評価基準	
先見的イノベーション&パフォーマンス	顧客への影響
アンメットニーズへの対応	価格/パフォーマンスの価値
メガトレンドを通じた先見的シナリオ	顧客購買体験
ベストプラクティスの実施	顧客所有体験
リーダーシップフォーカス	顧客サービス体験
財務パフォーマンス	ブランドエクイティ

リーダーシップフォーカス

現在の企業組織には、特権関連のリスクについて対処すべき課題が山積しています。その理由としては、リモート接続からの特権セッション数拡大の他に、マシン、アプリケーション、ノンヒューマン ID、サードパーティベンダーなどの特権 ID の急増があります。新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）により、日本の企業組織はリモートワークへ移行し、リモート接続の管理および制御方法の改善を求めようになりました。すべての特権認証情報や特権アカウントを集中的に管理してセキュリティリスクの低減を目指す、優れた設計の PAM（特権アクセス管理：Privileged Access Management）戦略に対するニーズが高まっています。

日本有数の情報セキュリティ企業である NRI セキュアは、PAM ソリューションとして SecureCube Access Check を提供しています。同社のこのソリューションは、企業組織の特権まわりの可視性と統制力を高めることにより、特権関連の侵害の検知や防止に役立ちます。また、すべての特権アクセスの予防的統制および発見的統制に重点を置いており、潜在的な情報漏洩に対する堅牢な対策を提供するとともに、監査効率の向上を実現します。パスワード管理、ワークフロー監視、アクセス制御、ログ取得および保管、監査支援など、特権 ID 管理に必要な機能をすべて備えています。

NRI セキュアの PAM ソリューションは、ID およびアクセスログを集中的に管理するチェックポイントゲートウェイを構成します。このゲートウェイタイプのアクセス管理ツールは、完全にエージェントレスであるため、既存の環境に影響を及ぼすことなく導入することが可能です。

「日本の PAM 市場における有力企業である NRI セキュアは、変化する顧客ニーズに適切に対応していくための製品を開発する PAM 戦略に引き続き注力しています。同社は、セキュリティと使いやすさを両立させることを重視して、ユーザーエクスペリエンスを損なわずに顧客環境のセキュリティを確保しており、顧客インフラのセキュリティ確保のみを優先する有力競合他社よりも一歩先へ進んでいます。」

**- ヴィヴィエン・ペア、
シニアインダストリーアナリスト**

アクセス管理およびログ管理の一元化によって、IT チームおよびセキュリティチームは、手作業でのワークフローを削減し、特権関連のリスクを低減できます。さらに、可視性の向上、容易な導入、タスクの自動化、組織全体にわたるセキュリティ向上が見込まれます。

特権 ID の拡大およびパンデミックによるリモートワークへの移行に伴って、日本の企業組織では、ID を中心としたゼロトラストの取り組みが注目を集めつつあります。ゼロトラストに向かう動きによって、PAM ソリューションに対する需要が高まっています。

NRI セキュアは、ゼロトラストアーキテクチャの中心的コンポーネントとして PAM を導入することが重要であると考えています。同社の特権アクセスに対するアプローチは、ゼロトラストフレームワークとよく調和しており、国内の顧客がインフラ全体にわたってゼロトラストの原則を容易に実現できるようになっています。

日本での厳しい規制および業界基準を考慮して、NRI セキュアは、同社の PAM ソリューションが、IT 全般統制、J-SOX 監査、FISC 安全対策基準、金融庁監査、PCI DSS など、特権アクセス管理に関する必要な法的規制の大部分に適合していることを保証しており、同ソリューションの機能を引き続き拡張して、法的基準の更新に迅速に対応しています。

日本の PAM 市場における有力企業として、NRI セキュアは、ゼロトラスト、リモート接続の制御、規制の変更等に伴って変化する顧客のニーズにより対応できる製品を開発する PAM 戦略に注力し続けています。同社は、セキュリティと使いやすさを両立させることを重視して、ユーザーエクスペリエンスを損なわずに顧客環境のセキュリティを確保しており、顧客インフラのセキュリティ確保のみを優先する有力競合他社よりも一歩先へ進んでいます。

アンメットニーズへの対応およびベストプラクティスの実施

従来のアプローチに基づいて自社環境で特権 ID の急速な拡大に対処しつつセキュリティを確保することは、ますます困難になっています。日本では、クラウドの利用増加に伴い、クラウドでの ID や権限の追加または変更が常に行われ、状況が複雑化しています。クラウドを利用している企業組織は、オンプレミスでもクラウドベースでもフレキシブルに導入できるオプションを備え、変化するニーズに対応できる PAM ソリューションを求めています。

NRI セキュアの PAM ソリューションは、オンプレミスまたは SaaS (Software as a Service) モデルが提供されています。同社はフレキシブルな導入モデルを提供することにより、クラウドまたはオンプレミスでの導入をサポートする、さまざまなユースケースや環境に対応するこ

「フロスト & サリバンの見解としては、同社の成功の主な要因は、PAM ソリューションや、マネージドセキュリティサービスによる顧客支援など、セキュリティサービスが高く評価されていることです。同時に、国内の販売代理店と強固な関係を構築する活動を進めて競争力を高めており、さまざまな業界の重要なプロジェクトで受注を獲得しています。」

- ヴィヴィエン・プア、
シニアインダストリーアナリスト

とで、PAM 製品の効率性の向上を目指しています。特権管理については、顧客の要求にさらに適切に応えるために、NRI セキュアは、専門家による監視サービスも提供しており、すべての記録が毎月のサマリレポートに含まれるようになります。

今後 3 年間で多くの企業組織がクラウドを採用していくことから、NRI セキュアがこの柔軟な消費モデルによって将来的にさらに成長していくものとフロスト & サリバンは考えています。

2022 年 4 月、同社は PAM ソリューションの新しいバージョン (5.5.1) を発表しました。これは、ダッシュボード機能を強化して、ユーザー

エクスペリエンスの向上、データ分析効率の改善を実現するものであり、監査業務の工数削減に役立ちます。2021 年中に同社は PAM ソリューションのバージョンアップを数回発表しました。その内容は、ログ改ざん検知機能、CIFS (Common Internet File System) 機能の更新、IT サービス管理ツールとの統合などがあります。

このような取り組みを通じて、NRI セキュアは、顧客の要件に応じて、さまざまなユースケースや環境に適するように PAM ソリューションを作り上げることができます。これにより、同社は主な注力対象であったオンプレミスだけではなく、クラウドでの導入についても効率的にサ

ポートできます。フロスト&サリバンは、NRI セキュアの安定した強さは、オンプレミスまたはクラウドベースいずれかのPAMソリューションしか提供していない競合他社との差別化要因によるものであると考えています。

財務パフォーマンス

パンデミックによる困難な経済環境にもかかわらず、NRI セキュアは、日本で健全な成長を達成し、主導的地位を確保できました。同社のPAMソリューションは、従来同様、国内の多数の大企業が最初に思いつく選択肢となっています。これは、同社が、金融機関、サービスプロバイダー、メーカー、政府に広く浸透していることによるものです。さらに同社は、事業の対象を拡大しており、小売、人材サービス、テクノロジーといったその他の業界から顧客を獲得しています。

フロスト&サリバンの見解としては、同社の成功の主な要因は、PAM ソリューションや、マネージドセキュリティサービスによる顧客支援など、セキュリティサービスが高く評価されていることです。同時に、国内の販売代理店と強固な関係を構築する活動を進めて競争力を高めしており、さまざまな業界の重要なプロジェクトで受注を獲得しています。

顧客購買体験および顧客所有体験

NRI セキュアは、大企業セグメントに強力な顧客基盤を持っています。特権 ID の急増に伴う脅威からの保護について、あらゆる規模の組織を支援するために、同社は、PAM の提供サービスを拡大し、Access Check Essential をリリースしています。これは、中規模企業の要件に必要な機能だけを備えた PAM ソリューションです。この新製品を利用すれば、必要な PAM 機能を備えながら、より少ない予算で PAM 戦略を始めることができます。また、その他の高度な PAM 機能を顧客の環境に統合する準備ができた段階で、NRI セキュアの PAM ソリューションのフルパッケージである SecureCube Access Check への移行が可能です。

これにより、PAM 戦略の導入にあたっては、環境の成熟度に応じて、一度に全て、あるいは段階的に実施、というように独自のペースで進めることができます。この柔軟なアプローチにより、NRI セキュアは有力な競合他社と一線を画しています。

おわりに

新型コロナウイルスのパンデミックによる不確実性にもかかわらず、2021年にNRIセキュアは日本のPAM市場で健全な成長を遂げています。これは、同社のイノベーションへの継続的な投資、代理店戦略への取り組み、PAM導入の全過程にわたる顧客の購買および所有体験の強化が大きく貢献しています。これらの取り組みにより、同社は、競争力を高め、国内の大企業が最初に思いつく選択肢であり続けています。

フロスト&サリバンは、総合的に好調な業績をあげているNRIセキュアを、日本の特権アクセス管理業界における2023年カンパニー・オブ・ザ・イヤーに選定します。

カンパニー・オブ・ザ・イヤーの選定について

カンパニー・オブ・ザ・イヤーは、フロスト&サリバンの授与する最高の荣誉であり、先見性のあるイノベーション、市場を牽引する実績、比類のないカスタマーケアを示した市場参加者を評価するものです。

ベストプラクティス賞の評価

カンパニー・オブ・ザ・イヤーの選定に当たり、フロスト&サリバンのアナリストが以下の基準を個別に評価します。

先見的なイノベーションとパフォーマンス

アンメットニーズへの対応：いまだ満たされていない、または十分に満たされていない顧客ニーズを掘り起こし、強力なソリューション開発プロセスにより対応している

メガトレンドを通じた先見的シナリオ：長期的なマクロレベルのシナリオが、メガトレンドの使用を通じてイノベーション戦略に組み込まれており、市場初のソリューションや新たな成長機会を可能にしている

リーダーシップフォーカス：主力市場における主導的ポジションと、新たな競合企業に対する強固な参入障壁の構築に注力している

ベストプラクティスの実施：一貫性のある反復可能な成功水準を達成できるプロセス、ツール、活動を特徴とするベストインクラスの実施

財務パフォーマンス：収益、収益拡大、営業利益、その他の主要財務指標において、事業成績が全体的に堅調

顧客への影響

価格/パフォーマンスの価値：製品またはサービスが、市場に出ている類似製品やサービスと比べて価格に対し最高の価値を提供している

顧客購買体験：購買体験の質が、自らの固有のニーズと制約に対して最適なソリューションを購入しているという安心感を顧客に与える

顧客所有体験：会社の製品やサービスを所有することを顧客が誇りに思い、製品またはサービスのライフサイクル全体を通して良好な体験を得られる

顧客サービス体験：顧客サービスの質が高く、いつでも迅速にストレスなく利用できる

ブランドエクイティ：顧客がブランドに対して良いイメージを抱いており、高いブランドロイヤリティを示している

